

岡谷市民病院 地域医療 連携だより

令和6年
秋号
11月



岡谷市民病院は「思いやり」を基本理念とし、心温まる患者サービスを提供し、地域の人々に信頼され親しまれる病院をめざします。

第10回 岡谷市民病院 病院祭！

10月12日（土）病院祭が行われました。オープニングセレモニーでは、岡谷太鼓と木遣りの声が青空に吸い込まれるように響きました。



来場者は約650名。昨年よりやや少なめですが、好天に恵まれキッチンカーや露店にもぎわっていました。

講演会には、順天堂大学スポーツ健康科学部教授でNHK番組「みんなで筋肉体操」で知られる谷本道哉さんをお迎えしました。

【人生110年時代を目指す 裏切らない筋トレ】と題して、科学的根拠のある楽しいトークに笑い、参加者全員で効果的な筋トレを行いました。



☆ そのほかイベントの様子です ☆



手洗い ばい菌バイバイ



バルーンアート



鉗子でつかみ取りゲーム



先生とOPしちゃった♪



アロママッサージ
今年も癒されます♡



血糖測定 骨密度測定
血管年齢測定

長蛇の列でした～(。_。)



今年も笑い(^^)
医師団 寸劇

二次性骨折予防継続管理料における施設基準・算定要件に係る研修会 **開催**

「大腿骨近位部骨折と骨折リエゾンサービス」	整形外科医師 田中 学
「骨粗鬆症治療薬」	薬剤師 和田 紀咲
「管理料の算定・加算について」	庶務課 花村 尚弥
「当院の脆弱性大腿骨近位部骨折に関する論文、研究発表」	院長・整形外科部長 内山 茂晴

8月29日(木)に行われた研修会は集合とZoomのハイブリット開催で、22施設、総勢35名の診療所の医師・看護師・事務員の方々が参加されました。

大腿骨近位部骨折の発生率は、現在年間約10-11万例とされています。75歳~89歳に好発し、ADLや生命予後にも影響します。「大腿骨頸部/転子部骨折診療ガイドライン2021」では早期の手術(利点は合併症が少なく生存率が高く入院期間が短い)と二次骨折予防を推奨しています。多職種連携で取り組む二次性骨折予防のリエゾンサービス(FLS:Fracture Liaison Service)が評価され、2022年に診療報酬が新設されています。

岡谷市民病院では、2022年4月よりFLSチームの活動を始め、看護師・薬剤師・理学療法士・MSWらが、骨粗鬆症マネージャーの資格を取得しています。



【新】二次性骨折予防継続管理料

- イ **二次性骨折予防継続管理料1 1,000点**
(入院中1回・手術治療を担う一般病棟において算定)
- ロ **二次性骨折予防継続管理料2 750点**
(入院中1回・リハビリテーション等を担う病棟において算定)
- ハ **二次性骨折予防継続管理料3 500点**
(1年を限度として月に1回・外来において算定)



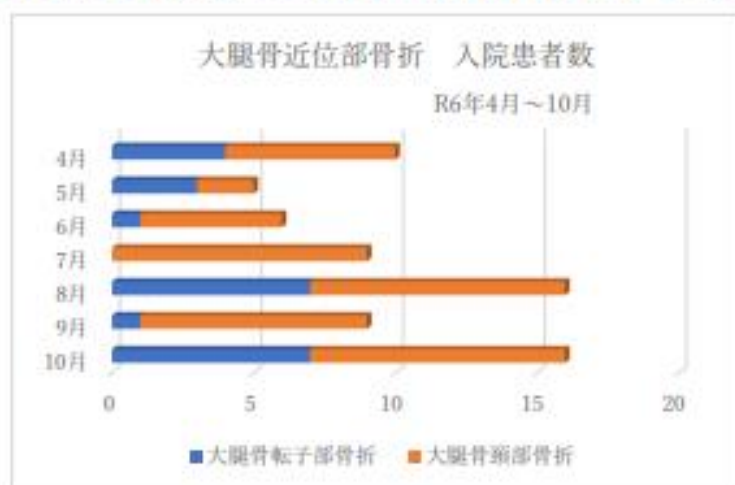
「二次性骨折予防継続管理料3」の算定要件です

- 【体制】 (A) 骨粗鬆症の診療を担当する**専任の常勤医師**
 (B) **専任の常勤看護師**
 (C) **専任の常勤薬剤師** (専任の常勤薬剤師が不在の場合、地域の保健医療機関と連携し診療を行う体制として良い。)

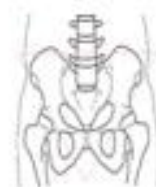
【研修会】 院内職員を対象とした「骨粗鬆症に対する知識の共有とFLSの意義について」の研修会を年1回以上実施する。

【加算の算定】 二次性骨折予防継続管理料3は、二次性骨折予防継続管理料1を算定していることが前提で、1年の算定期限があります。

岡谷市民病院に大腿骨近位部骨折の傷病名で入院された患者数



リハビリ目的で転院入院された方もいますが、ほとんどが緊急入院で手術治療、骨粗鬆症治療をしています。



岡谷市民病院 訪問リハビリテーション(リハビリ)の紹介

岡谷市民病院では、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が、利用者の実際の生活の場においてリハビリを行っています。

日常生活に必要な基本的な動作や応用的な動作を練習し、日常生活の自立や、社会参加を目的としています。

そのほかに、ご本人やご家族にとって負担にならないような介助の仕方の検討や、安全に生活できるように生活環境に応じた福祉用具の選定・環境調整の提案も行っています。

ケアマネージャーや訪問看護など多職種と協同し、家族の介護のもとで安心してその人らしい生活を送れるように支援しています。



当院では、通院でのリハビリを行うことが困難で、主に当院から退院後の方や当院を受診されている方を対象としています。訪問リハビリの利用希望がある場合や退院後の生活を支援していくためにリハビリを必要とする場合等、判定会議を行いリハビリテーション科医師の指示のもと進めています。

退院後の生活に不安を感じることがないように入院中から準備を進め、退院直後からリハビリを行うことも可能です。心身機能の回復を図り、在宅での生活や家庭内の役割の獲得、社会とつながりを作ることができ、目標が達成されれば終了とさせていただきます。



特殊歯科・口腔外科 新任の医師を紹介します

10月より箱山友祐医師に代わり着任しました。



たきざわ あつし
瀧沢 淳

- 信州大学医学部附属病院、浅間総合病院等を経て着任
日本口腔外科学会専門医
日本有病者歯科医療学会専門医
日本がん治療認定医機構認定医（歯科口腔外科）
- 病院歯科として、地域の医療に貢献できるように努力してまいります。よろしくお願いいたします。



脳神経内科 新任の医師を紹介します

11月より上野晃弘医師に代わり着任しました。

なかふじ きよし
中藤 清志

- 長野赤十字病院、信州大学医学部附属病院を経て着任
日本神経学会
- 映画をみるのが好きです。焼き肉や寿司、ラーメンなどが好物です。道にも迷ったりと不慣れですが、早く慣れるように頑張ります。



<p>【医療と介護の意見交換会】 開催</p> <p>11月26日(火) 17:45~19:00</p> <p>於:岡谷市民病院</p>	<p>お知らせ</p> <p>脳神経内科上野晃弘医師は10/31付けで退職となりましたが、11月からは毎週木曜日に外来診療を行います。</p>	<p>緩和ケア病棟 入棟面談予約 曜日と時間が変更になりました。</p> <p>月曜日 木曜日 10:00~11:30~ 予約・ご相談は 地域医療連携室まで</p>
<p>【先生方へお願い】 ご紹介にあたりスムーズな事務処理のため、診療情報提供書の名前にフリガナの記載をいただきますようご協力をお願いします</p>		

編集後記 残暑の厳しさから一変、急に涼しくなり、秋を通り越して冬が来るのでは？と思うほど気候がヘンです。毎年食しているいつもの宇和島のミカンも不作のようで残念(-.-) 気温の変動に体調も崩しやすくなります。みなさまご自愛ください。(K)